



第438号

2023年10月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

すべてのいのちを守るための月間

9月1日(金) 10月10日(火)

教区101年目

出て行こう! 神からの恵み AGIFTを告げるために

教区ホームページ

福音のひびき

10月の説教者

- 1日 年間第26主日 オディロン金一(北陸ブロック富山地区)
8日 年間第27主日 山野聖嗣(港教会)
15日 年間第28主日 荒田啓示(神言会)
22日 年間第29主日 寺尾総一郎(膳棚教会)
29日 年間第30主日 パシ・イグナチウス・クリステイアス(平針教会)

8月6〜15日の日本カトリック平和旬間における名古屋教区のメインの取組みである平和祈願ミサが8月13日、「いのちをまもる、平和を築く、何が見える、何が聴こえる」をテーマに布池教会で行われた。ミサに先立つ第一部は大聖堂で「平和を考えるつどい」が開かれた。非正規滞在者として名古屋入管に収容された外国人との面会活動をする西山誠子さんと、憲法学者として南山大学、愛知大学で教鞭をとり、定年後に沖繩に移住して米軍基地の人権問題などに取り組む小林武さんの2人から話を聞いた。また、子どもたちのためには地下ホールで特別なプログラムも用意された。

小さな人々の痛みを感じると勇気持てる

教区平和祈願ミサ

それらに続く第2部が、いよいよ平和祈願ミサ。子どもたちも侍者や共同祈願などで奉仕に参加した。「平和の歌ヌチドゥタカラ」を参加者約160人が力強く歌ってミサが始まった。「ヌチドゥタカラ」とは沖繩の言葉で「命は宝」の意味。松浦悟郎司教のほか8人の司祭が共同司式をした。

最前列に招いた子どもたちに「分かりやすいように話す努力をします」と説教を始めた司教は、「今、世界も日本もバラバラで人々の心が揺らいでいる」と指摘した。

世界でも、教会でも揺らいでいる。こういう時どこで誰の声を聞きますか」と司教は問いかけた。第一朗読の主のささやからような声を聞いて洞窟から出たエリヤの話を、司教は第一部の二つの講話に結び付けた。

ビザが切れただけで捕らえられ入管施設に収容された外国人たちが、いくら叫び声をあげても誰も聞こうとせず、面会に行った人だけがその声を聞くということ。沖繩とその周辺の島の人たちには戦争の足音が聞こえるということ。つまり、神の声が小さくささやくような声だったように、顧みられることのない苦しむ人々、弱くされた人々の小さな声の中に、神の声はあるのだという。

入管に収容されている人々、沖繩の人々、ウクライナの人々、ロシアで強要されて戦争せざるを得ない人々、皆が苦しい。彼らのことを神は「私が苦しんでいる」と言うのだ。エリヤが立ち上がったように、私たちがそういう声を聞いたら立ち上がって、歩み出していく。「戦争できる国になるのは嫌だよ」と言うことも行動だ。

「私たちは恐れなくて、ささやかな小さな声を聞きながら、その目を見つめながら、歩んでいきたい」と説教を結んだ。共同祈願では応答句として「キリストのへいわ」を歌い、奉納では講演の

が、多くの児童と住民が事故に巻き込まれて死傷した。しかしその後の補償などがあまりに不条理だと思われたことが、沖繩の基地問題に関心をもつきっかけとなった。2011年に定年を迎え、憲法学者としての仕事には一区切りつけ、念願かなって沖繩に移り、平和のための言論活動をするかたわら、市民運動にも参加している。

今、私たちが主権者として平和を守り抜くための選択は、自衛隊を専守防衛の枠内で運用し、対話による平和外交に努力すべきであると、小林さんは強く訴えた。



講話の感想をのせた青い折鶴をささげる子供たち

平和を考えるつどい

「実直に長年暮らす人守れ」「専守防衛と対話外交努力を」

西山さんがこの活動を始めたのは15年程前のこと。フィリピン人の友人



フレンズ名古屋 西山誠子さん

「あいち移住労働者と共に未来を考える会フレンズ名古屋」の西山誠子さんは、長年、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に収容された外国人との面会を続けている。

「あいち移住労働者と共に未来を考える会フレンズ名古屋」の西山誠子さんは、長年、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に収容された外国人との面会を続けている。

「あいち移住労働者と共に未来を考える会フレンズ名古屋」の西山誠子さんは、長年、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に収容された外国人との面会を続けている。

「あいち移住労働者と共に未来を考える会フレンズ名古屋」の西山誠子さんは、長年、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に収容された外国人との面会を続けている。



沖繩大学客員教授 小林武さん

「あいち移住労働者と共に未来を考える会フレンズ名古屋」の西山誠子さんは、長年、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に収容された外国人との面会を続けている。

「あいち移住労働者と共に未来を考える会フレンズ名古屋」の西山誠子さんは、長年、名古屋出入国在留管理局(名古屋入管)に収容された外国人との面会を続けている。

平和旬間 空襲・戦争犠牲者のため 大乘公園巡礼と ロザリオの祈り

一宮

一宮教会は平和旬間行事として7月23日に「大乘公園巡礼」を、8月6日に「ロザリオの祈り」を行った。

一宮教会から徒歩約15分の大乗公園には一宮空襲で犠牲となった727名の空襲殉難記念碑Ⅱ写真Ⅱが建つ。一宮市は終戦直前の1945年7月12日と28日、いずれも深夜から翌日にかけて、計2回の空襲が襲った。大乘公園周辺はその中心部だった。毎年7月28日には空襲殉難記念碑前で、一宮市戦災遺族会によって戦災死没者慰霊法要が行われている。



23日、主日ミサ終了後の大乗公園巡礼参加者は、現地集合の人を含めて20人。じりじりと照り付ける道路を公園に向かって歩き続けた。信号待ちで水分を取って、ゆっくりと歩くこと20分。全員無事に大乘公園に到着。緑の木々に囲まれた公園に着くと、安堵の声があちこちから上がった。また、日本カトリック司教協議会作成による「平和を求め祈り」を全員で唱え、最後に1分間の黙祷を行った。「一宮空襲や戦争で犠牲となった方々が喜んでくれたと思う」「戦争を再び起こしてはならないとあらためて思った」などの感想が参加者から聞こえた。

記念碑の前で集合写真を撮り、木陰に移動して空襲犠牲者のための祈りを行った。また、日本カトリック司教協議会作成による「平和を求め祈り」を全員で唱え、最後に1分間の黙祷を行った。「一宮空襲や戦争で犠牲となった方々が喜んでくれたと思う」「戦争を再び起こしてはならないとあらためて思った」などの感想が参加者から聞こえた。



子どもプロジェクト

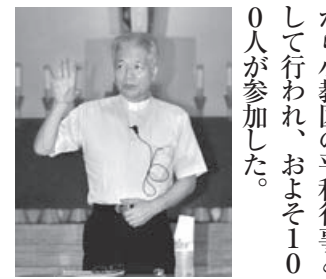
を前に、父親から聞いた展示した。主に7月29日の空襲直後の写真で、門以外すべて焼けてしまった小学校や市民病院、全焼の紡績工場や真清田神社などの写真だ。小中学生や若い人たちも「一宮空襲後の悲惨な町の様子を見るのができた。写真を

第一連は全世界の核兵器の廃絶を、第二連はウクライナでの戦争をはじめ世界各地の内戦や紛争の終結と平和を祈った。さらに第三連は貧困、飢餓、差別などで苦しんでいる人々の上に救いの恵みがあるように、第四連は日本が二度と戦争を起すことなく平和の担い手となるように、そして第五連は私たち一人ひとりが、平和のために働くことができるようにと、聖母の取り次ぎを願った。(一宮教会・曾我久子)

南山教会では8月6日、「平和をつなぐ真の平和を呼びかける人になろう」をテーマに「平和祈念の集い」が開かれた。昨年まで有志によって続けられたこの集いが、15回目を数える今年から小教区の平和行事として行われ、およそ100人が参加した。

南山教会・平和祈念の集い 「平和をめざして 現実から出発しよう」 松浦司教

南山教会では8月6日、「平和をつなぐ真の平和を呼びかける人になろう」をテーマに「平和祈念の集い」が開かれた。昨年まで有志によって続けられたこの集いが、15回目を数える今年から小教区の平和行事として行われ、およそ100人が参加した。



さらに南山教会聖歌隊によるコーラス、戦後悲惨な状況に置かれたながらも忘れられた存在である戦争孤児の手記の朗読、参加者による共同祈願が行われた。

松浦司教様の講演を聴いて

南山教会 荒川紀衣

日本の政府は唯一の被爆国として「核のない世界」と言いながら、その一方で安全保障のために米国の「核の傘」が必要だと言う。核を無くしたいが、国家の安全は核に委ねる。

この世界が神様の心にならなくて誰一人として排除されることのない世界になるように、すべての人に真の平和の道を歩む観智と勇気が与えられますように祈ります。

ドキュメンタリー映画 「ワタシタチハ ニンゲンダ！」

外国人に対する 人権無視の歴史

ドキュメンタリー映画「ワタシタチハ ニンゲンダ！」が8月11日、布池教会地下ホールで上映された。主催は教区正義と平和委員会、参加者は47人だった。

この映画はさまざまな記録映像と独自の映像をつなぎ、解説を入れた。戦後日本が外国人にどのような態度で相

対してきたかを浮かび上がらせている。前半は朝鮮問題。日本の外国人に対する態度は、朝鮮出身者から始まっている。もともと日本は対外政策に振り回されて日本に来るようになった人々であるにもかかわらず、1945年8月、日本が敗戦して35年に及

ぶ植民地支配が終わり、朝鮮出身者のうち200万人が帰国したが諸事情により60万人が残留。48年に朝鮮半島は南(韓国)と北(北朝鮮)に分断された。50年代にはサンフランシスコ講和条約、外国人登録法、朝鮮総連樹立ほか様々な動きがあったが、当時の法務省人権参事官・池上努氏が、朝鮮人に限らずすべての外国人に「煮て食おうが焼いて食おうが自由」と発言している。入管法はこうした発想の上に成り立っているようだ。80年代にはベトナムか

らのポトピーブル、難民条約加入、入管法改正ほか様々な問題と、外国人学校に対するヘイトクライムなど、何かあるたびに「対応しよう」としながら抜本的な改善とはならない。

2019年に特定技能制度が創設されるが、外国人労働者イコール使い捨て、外国人の子どもの義務教育を認めていない、20年に高校無償化になったが朝鮮学校は認められず差別が残る。

当初、入管ではウイシユマさんの映像提供を拒否していたが2時間に編集したもの家族に見せた。ウイシユマさんの髪は何度もカットされておしゃべりな彼女はなかなか酷くて辛くて見られなかった。姉は動物のように扱われ殺された姉妹はコメントした。

日本も加盟している難民条約の第33条は特に「ノン・ルフールマンの原則」と呼ばれ、難民申請中は強制送還されないことになっている。にもかかわらず条約は守られていない。わずか47人という難民認定数と認定率が諸外国に比べ極端に少ないのが「難民鎖国」の日本の現状だ。

忘れられないシーンが少なからずあった。強制送還のため手錠を付けられさらさら結末バンドで身体を拘束された上、タオルで口元を塞がれ、毛布でグルグル巻きにされた結果、窒息死した(春日井教会・福原満江)

この世界が神様の心にならなくて誰一人として排除されることのない世界になるように、すべての人に真の平和の道を歩む観智と勇気が与えられますように祈ります。



原点に戻れば 立ち上がっていける

カトリック看護協会
司教様との集い

カトリック看護協会名古屋支部主催による「松浦司教様との集い」が7月1日、聖霊病院・聖霊ホールで開かれた。コロナ禍によって3年ぶりの対面での講演が可能となり、会場参加が22人、オンライン参加も13人の多数の参加を得た。写真。

テーマは「生活の中でのおもいごとば、日々ストレスの多い仕事を抱えている私たちへ、主のみことば癒しと励まし」。人が人生の中で大きな問題にぶつかったときの大切なことは、①原点に戻る場所を知っているか、②自分の辛さや苦しみを理解し支えてくれる人がいるか。この二点が解決へと導いてくれる。

嘆きは恐ろしいものであるが、その嘆きを誰かが聞いてくれると半減することが出来る。イスラエルの民は、「神」に聞いてもらえることで救われた。

具体的には、詩編に、旧約聖書に、新約聖書に多く語られていることが紹介され、深められた。目の前にある問題の原点に戻ることにより、自分の中から生まれ湧いてくるレジリエンスによって立ち上がっていけることが理解できた。

1時間の講演後、参加者から日々の気付きや想いが多く分かち合われ、心熱くなつての終了となった。
(南山教会 横山美佐子)

2023年度正義と平和学習会 年間テーマ「やられた方から歴史を見るパート2 一誰一人置き去りにしない」

日時・場所	テーマ	講師
11月10日(金) 10時30分~12時 福信館	「里山を再生する農業をめざして」	早川しょう子さん (No nukes とエコ・東濃)
2024年1月12日(金) 10時30分~12時 福信館	フクシマからの避難者	岡本早苗さん (だまっちゃんおれん! 原発事故人権侵害訴訟・愛知岐阜原告団長)

問合せ カトリック名古屋教区正義と平和委員会
〒461-0004 名古屋市東区葵2-6-29 福信館気付 fax 052-935-7195

ドキュメンタリー映画
長崎追想
父・井上ひさしへの旅
10月26日(木)
10時/13時30分
(2回上映)
名古屋北文化小劇場
作家・井上ひさしの次女、劇団こまつ座代表の井上麻矢さんが、父の構想した「母と暮せば」の思い出の地をたどる旅に出る。父・井上ひさしが伝えたかった「反戦・平和への願い」を、長崎の原爆、浦上天主堂、被ばくマリア、長崎大司教の話などを通して観る者に伝える。
公式サイト・映画「長崎追想 父・井上ひさしへの旅」(astarsquare.wixsite.com)

読んでみたら!? やさしい猫

中島京子著 中央公論新社
2020年から読売新聞夕刊に連載され、今年6~7月にはNHK 総合でテレビドラマ化もされた長編小説。
努力して自動車整備士の資格を取って真面目に働き、東日本大震災の被災地でボランティアをしていた心優しいスリランカ人のクマさんとシングルマザーで保育士のミユキさんは、互いにひかれあって結婚に至る。
しかし、ビザの期限が切れてしまったクマさんは婚姻届の提出直後に不法残留で入管施設に収容され強制送還を命じられる。ミユキさんの一人娘マヤちゃんと三人で一緒に暮らしたいという小さな幸せはなぜ奪われなければならないのか。
女子高校生マヤちゃんの視点から描く小説(フィクション)はマスメディアの伝える事実よりも、日本で起きている真実をいっそう明らかにする。



韓国カトリック司教協議会生態環境委員会 日本カトリック正義と平和協議会 2023年第9回日韓脱核平和巡礼「政府のGX 原発政策のウソにNO！」

名古屋集会 (名古屋教区正義と平和委員会共催)
日時 10月13日(金) 16時~19時
会場 カトリック布池教会 (〒461-0004 名古屋市東区葵1丁目12-23)
挨拶 パク・ヒョンドン 韓国カトリック司教協議会生態環境委員会担当司教 エドガル・ガクタン 日本カトリック正義と平和協議会担当司教
講話1 草地妙子 老朽原発40年廃炉訴訟を支える市民の会共同代表 「老朽化原発稼働延長の問題」 福島原発事故の反省から原発の運転期間は40年とされた。しかし、例外である20年延長がこれまでなし崩しで認められてきた。申請すれば「もれなく合格」。これで本当に「安全最優先」と言えるのか。
講話2 ヤン・キソク 韓国カトリック司教協議会生態環境委員会担当司教 「韓国における次世代原子力発電所小型モジュール原発(SMR)開発の問題点」(仮題)
問合せ 日本カトリック正義と平和協議会事務局 03-5632-4444 jccjp@cbcj.catholic.jp
さらに、事実上70年、80年運転までを可能とする法改正がなされてしまった。審査に合格さえすれば良いというのは「安全神話」の復活に他ならない。関西電力の老朽原発3基に出された運転期間延長認可等取り消し訴訟では、杜撰すぎる審査の実態が明らかとなっている。

映画「旅するローマ教皇」

第79回ヴェネチア国際映画祭アウト・オブ・コンペティション部門正式出品
カトリック中央協議会 広報推薦
ローマ教皇の旅—2013年のイタリア、ランペドゥーサ島から始まり、2022年の新型コロナウイルスのパンデミック下のマルタの訪問までが本作で描かれる。難民問題、紛争に苦しむ中東やアフリカ、アメリカでは平和について語り、世界で唯一の被爆国である日本では黙とうを捧げる。森林火災、台風など自然災害を受けた土地を訪れ環境問題を語り、イスラム教や正教会の指導者と会話し融和を訴える。カトリック教会で起きた性的虐待については謝罪する…。
「旅とは知的で精神的な修行だ」と語る教皇は、世界各国へ足を運び、笑顔で手を振るだけでなく、市井の人々と触れ合い、握手をし、直接話を聞く。そして、夢見ることの大切さを伝える。垣間見える明るく飾らない人間性。様々な世界の問題に耳を傾け、言葉を投げかける教皇フランシスコ。本作を通して私たちは彼と共に旅をする。この教皇の旅は、現在の社会情勢を映し出し、私たちの心をゆさぶる。
(名古屋教区での公開情報) 愛知 伏見ミリオン座 (052-212-2437) 10/6(金) 公開
石川 シネモンド (076-220-5007) 近日公開
福井 メトロ劇場 (0776-22-1772) 11/11(土) 公開



永遠の安息を祈る音楽の集い~死者の月によせて

死者の月にレクイエムを、グレゴリオ聖歌を加えたミサ典礼の形式に則って演奏することにより、帰天した人たちの永遠の安息を祈ります。
日時 2023年11月18日(土) 13時開演 会場 南山教会 大聖堂
説話 暮林響神父(神言会)
曲目 フォーレ「レクイエム」他
出演 ・レクイエム: ソプラノ独唱/上井雅子、バリトン独唱/加藤武志、合唱/名古屋テアトロ合唱団、オルガン/吉田文、指揮/石原立教
・グレゴリオ聖歌: 名古屋グレゴリオ聖歌を歌う会
入場無料 ただし会場での献金をお願い致します。
主催 名古屋テアトロ合唱団
問合せ・申込み 上井隆志(うわいたかし/090-5604-9656)
入場整理券をお求め下さい。
QRコードからも申込みできます。
会場アクセス
名古屋市昭和区南山町1 地下鉄鶴舞線いりなか駅徒歩5分
駐車場には限りがありますので、なるべく公共交通機関でお越し下さい。



集まるだけで 明るく元気!

インターナショナルユースデー

教区難民移住移動者委員会は多国籍の青年たちの交流の場として「インターナショナルユースデー」を7月30日に城北橋教会で開催した。テーマは「あなたの居場所」。例年5月に行われていた「インターナショナルミサ」に代えて、ちょうどこの時期リスボンで開かれていたワールドユースデーに合わせて計画された。老若男女約140人が参加した。
受付開始の30分以上前から多くの参加者が集まり、ミサが始まるまでの2時間近く何もせず待っているのは退屈ではない



夢であり、あちこちで話の輪ができていた。ミサの第1朗読は英語、答唱詩編の詩編はベトナム語、第2朗読はスペイン語、共同祈願はポルトガル語、日本語、ベトナム語、タガログ語と多様な言語で行われた。ベトナム語による詩編唱和はとても美しく、ベトナム人が参加する小教区のミサではぜひ取り入れたいと思った。ミサ曲にはテゼの歌など誰もが歌える歌が選ばれ、多国籍の青年によるバンド演奏で明るく元気なミサとなった。
茶話会ではワールドユースデー現地から最新のビデオメッセージが流され、名古屋とリスボンがつながって感じられた。
シスターによる修道会のアピールに続いて14人のシスターたちによる合唱が始まると、清らかなハーモニーが会場に漂い、みな静かに耳をすませた。
暮林神父のギター伴奏で舞台上上がった青年たちがアーメンハレルヤを合唱し、それに松浦司教のピアノ伴奏も加わり、大いに盛り上がった上で司教があいさつして終了となった。
言語別のグループ集いも計画にあったが、それまでのプログラムが長引いたことや参加者の楽しそうな様子などから判断して急ぎよ中止となった。
多国籍の若者たちの集まりは日本人の感覚とは違つところもあり、大きな力を与えられた。青年委員会が11月に新たな企画をしているらしい。今から楽しみだ。
(高蔵寺教会 小林勉)

10月の教会暦

1日(日) 年間第26主日
守護の天使(記)

2日(月) 聖フランシスコ(アシジ) 修道者(記)

4日(水) 聖イグナチオ(アンチオケ) 司教殉教者(記)

7日(土) ロザリオの聖母(記)

8日(日) 年間第27主日

15日(日) 年間第28主日

17日(火) 聖イグナチオ(アンチオケ) 司教殉教者(記)

18日(水) 聖ルカ福音記者(祝)

22日(日) 年間第29主日

28日(土) 聖シモン 聖ユダ使徒(祝)

29日(日) 年間第30主日

11月の主な教会暦(主日・祭日など)

1日(水) 諸聖人(祭)

2日(木) 死者の日

5日(日) 年間第31主日

12日(日) 年間第32主日

19日(日) 年間第33主日

貧しい人のための世界祈願日

26日(日) 聖書週間(〜26日まで) 王であるキリスト(祭)

世界青年の日

13日(金) 正平委定例会・学習会
殉教者委定例会

14日(土) 典礼委教区全体会議
信徒協役員会

15日(日) 愛岐B会議
カトリック看護協会例会
月集*

17日(火) カトリック看護協会例会
月集*

19日(木) レジオ・マリエ名古屋クリア
司教評議会*

26日(木) 濃尾B会議

28日(土) 濃尾B会議

5日(日) 刈谷教会聖信式*

9日(木) 東八事第二墓地追悼ミサ
顧問会*

10日(金) 正平委定例会
殉教者委定例会

11日(土) 典礼委コアミーティング
信徒協役員会

11日(土) 12日(日) WYD in名古屋*

12日(日) 三河B会議

14日(火) 難民移住移動者委員会
樹の会

15日(水) カリタス福祉委員会

18日(土) レジオ・マリエ名古屋クリア
豊橋教会献堂75周年記念ミサ*

19日(日) サ*

教区行事予定 (*松浦司教)

10月

1日(日) 宣教司牧評議会*

7日(土) 信徒使徒職大会*

8日(日) 長浦教会献堂75周年記念ミサ*

サ*

東八事第一墓地合同追悼ミサ
樹の会
カリタス福祉委員会
顧問会*

10月

2日(月)〜4日(水) 全国終身助祭研修会

21日(火) 城北B会議/城東B会議
城南B会議
カトリック看護協会例会

26日(日) 教区・子どもの集い
月集*

30日(木) 月集*

11月

5日(日) 常任司教委員会
9日(月) 祝新大阪高松大司教区・新大司教着座式

24日(火) 南山学園評議員会

28日(土) 大阪教会管区・難民移住移動者会議

11月

2日(木) 常任司教委員会
13日(月)〜16日(木) 日韓司教交流会

告知板

◇10月の炊き出し
木5日東山、12日布池、19日聖霊・南山・樹の会、26日城北橋
金6日喜望の会、13日南山、20日布池、27日一宮

▼信徒使徒職協議会 秋の講演会
11月11日(土) 13時〜16時 布池教会
地下ホール 講師・鈴木隆氏(イエズス会霊性センター)せせらぎスタッフ

▼人事異動(9月1日付)
半田教会主任司祭
ジェブーラ・エウゲニウス(神言会)



建設費の返済に協力を

661件 35,291,634円
目標額 40,000,000円 (8月末現在)

達成率 約88.2%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

10月22日 世界宣教の日・献金
10月の最後から2番目の日曜日

「世界宣教の日」は教皇庁信仰弘布事業が毎年10月に呼びかける「世界宣教月間」の頂点であり、まだキリストを知らない人々に囲まれて生きるキリスト者に宣教の心と呼び起こし、霊的物的援助をはじめ、宣教者たちの協働を促進することが目的である。この日の献金は、各国からローマ教皇庁・福音宣教省に集められ、世界中の宣教地に援助金として送られる。

名古屋教区典礼委員会
大人のための侍者講習会

ミサ典礼における所作などを実際の動きを確認しながら、実践的に学ぶ。すでに小教区で侍者を務めている、あるいは今後奉仕に関わりたいと思っている成年男女。

日時 10月9日(月) 13時〜15時30分
場所 南山教会大聖堂
講師 ヤコブ・ライチャーニ神父(南山大学教員)
参加費無料・申込み不要・持ち物不要

〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉
【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】
—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

10月21日(土) 14時30分〜17時
テーマ 原初史③(創世記4章、11章)とコヘレト書。カインとアベル、バベルの塔。カインの問題性とアベルの問題性とわたしたち。アベルの血の叫びを覆うイエス・キリストの血の叫び。アベル性(ヘベル(コヘレト書))とキリスト教的霊性。

11月18日(土) 14時30分〜17時
テーマ アブラハムの霊性、イサクの霊性、ヤコブの霊性とわたしたち(創世記12-50章)

場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)どなたでもご自由にご参加ください。

持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。参加費無料。

担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院(052-671-1003)
以降の子定: 12月16日(土)、2024年1月20日(土)、2月17日(土)、3月16日(土)

信徒使徒職協議会より
信徒使徒職大会の案内

テーマ つなげよう 喜びとともに
日時 10月7日(土) 13時〜16時
会場 布池教会地下ホール
内容 この数年間「信徒協スマホニュース」で紹介された団体の活動紹介を行います。パンフレットなども用意いたします。ビートルズ(ゴロー司教&兄弟バンド)演奏、他。

参加自由 どなたでも参加できます。

NGO エスナック教育里親グループ主催
第1回名古屋エスナックフェスティバル

NGO エスナック教育里親グループは教育を通してインド、バングラデシュ、ケニア、エチオピアの子どもたちが自立するための援助を行っています。これまでに1万人以上の子どもたちが、社会に貢献する大人へと成長することができました。

エスナックの活動にふれていただく機会を設けましたので、皆様の参加をお待ちしています。

日時 10月21日(土) 13時〜15時
会場 聖霊修道会ミッションセンター1階ホール(電話 052-832-0434)(名古屋市中区八事本町1番地 ※駐車場あり)

交通機関 名古屋地下鉄「八事日赤」駅下車、徒歩10分。以前、聖霊幼稚園だったところ。

内容 ①エスナックの紹介 ②里子の近況報告 ③バザー(現地の民芸品など) ④ビンゴ大会 など。

ボランティア募集 ①受付(記帳、アンケート) ②通訳(主に英語) ③バザー売場担当 ④茶菓の販売 ⑤路上の案内係 ⑥駅までの送迎ドライバー ⑦会場清掃

問合せ 080-5106-0127(川口)

第2回 大切な家族・友人のための追悼ミサ
孤独のうちに自ら命を絶ったすべての人のために

「苦しみの果てに自ら命を絶った人々の永遠の救いについて、絶望してはなりません。神はご自分だけが知っておられる方法によって、救いに必要な悔い改めの機会をあたえることがおできになるからです。教会はそのような人々のためにもいのりします」(『カトリック教会のカテキズム』)

日時 11月25日(土) 10:00より
場所 東海教会(東海市高横須賀町成宝新田9) 名鉄空港線「太田川駅」徒歩15分

司式 山野聖嗣神父(O.S.A)フェルデイ神父(S.V.D)ロナウド神父(S.V.D)

その他 1)ともに祈ってくださる方をお誘いください。 2)遺影台を用意いたします。 3)平服でご参列ください。

主催・問合せ 教区カリタス福祉委員会
Tel 052-852-1426 Fax 052-841-2225

AJU 自立の家 第30回ウェルフェアコンサート
辻井伸行ピアノ・リサイタル

曲目 バッハ「フランス組曲第5番」、ショパン「即興曲全4曲」、カプースチン「8つの演奏会用エチュード」、ラヴェル「水の戯れ」、他

日時 11月2日(木) 17時45分開場・18時30分開演
会場 愛知県芸術劇場コンサートホール
〒461-0825 名古屋市中区東桜一丁目13-2

入場料 (全席指定) A席6,000円 B席5,000円 C席4,000円 車いす席4,000円

主催 AJU 自立の家後援会
申込み・問合せ AJU 自立の家後援会事務局(担当: 木下、鈴木)
〒466-0037 名古屋市中区恵方町2-15
TEL(052)841-5554/FAX(052)841-2221
WEB「AJU ウェルフェアコンサート」で検索

日程にご注意ください!

第18回 AJU ワインフェスタ in 多治見修道院

日時 11月18日(土) 10時〜14時30分(雨天決行)
場所 神言修道会多治見修道院 岐阜県多治見市緑ヶ丘38
(注意: 小牧ワイナリーではありません)

参加費 事前購入: 4,000円(当日購入: 4,500円) ※限定2,000人
ワイン1本付き(375ml)、記念ワイングラス付き、他20歳未満の方は入場無料、ソフトドリンク等は有料

催し物 ワインセミナー/島幸子、2023年産 新酒ワインの販売、他

お食事 チーズ、パン、お肉など盛りだくさんの出店

交通 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
なお、JR 多治見駅北口からシャトルバスを運行(時間未定)。ご利用ください。
または、徒歩30分。

お願い アルコール類は持ち込み NG
お酒はAJUのワインでお楽しみください

主催 社会福祉法人AJU 自立の家
神言修道会多治見修道院
小牧ワイナリー内、
AJU ワインフェスタ実行委員会
☎0568-79-3001 Fax 0568-79-3002
E-Mail komakiwinery@aju-cil.com